

議会だより

vol.36
2014. 5. 1



新庄高校野球部(甲子園)

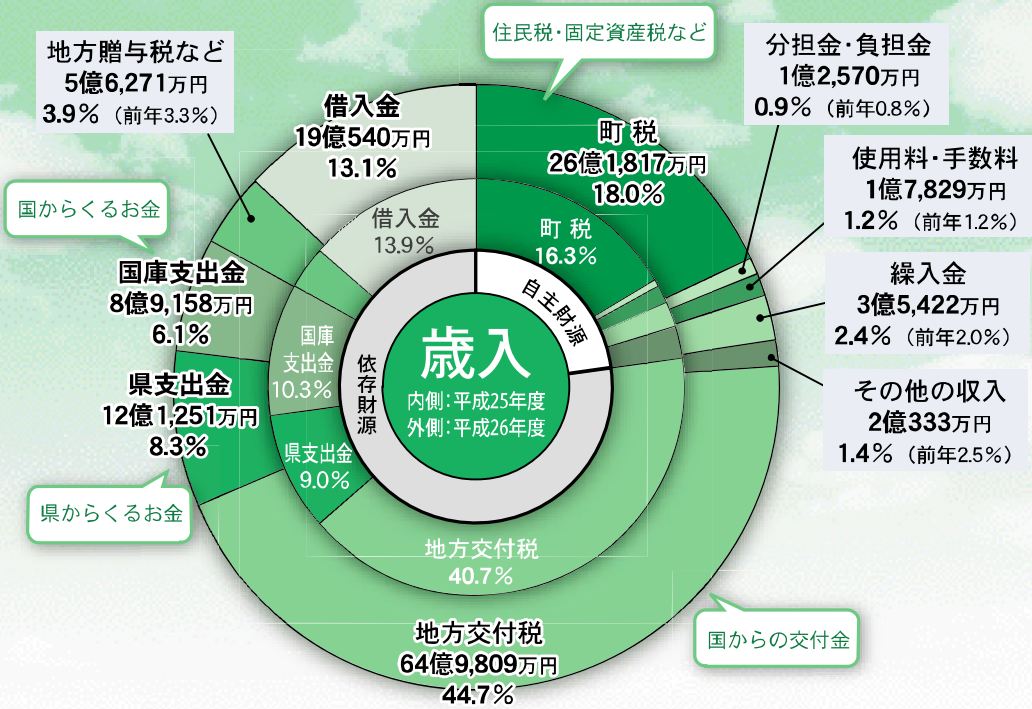
第1回定例議会 〈3月4日～3月19日〉

平成26年度一般会計予算	P2～P4
平成25年度3月補正予算	P4
提出議案の審査結果	P5
一般質問 17議員が町政を問う	P6～P14
意見書、発議(地酒で乾杯条例)	P15
がんばってます(大朝保育所・蔵迫保育所)	P15～P16

145億5,000万円

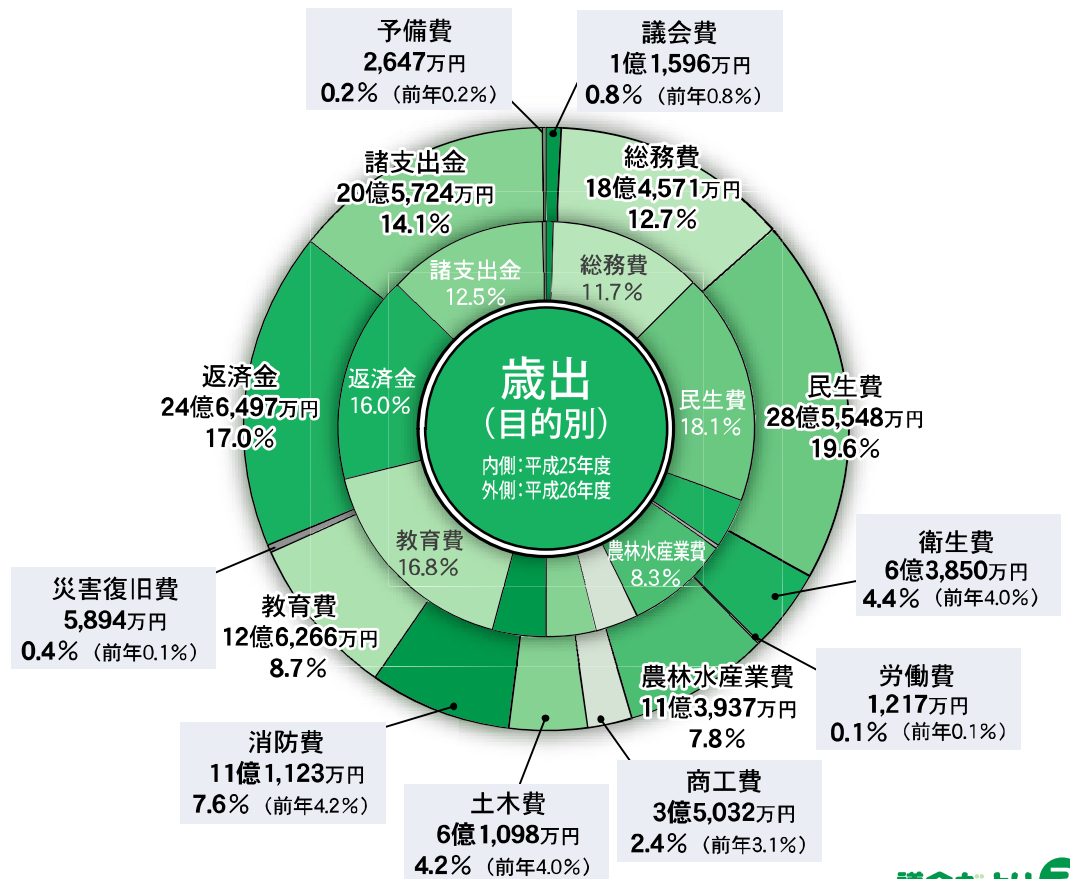
箕野町政初の当初予算 公約実現予算5億5,000万円を盛り込む

3月定例会は、3月4日から3月19日まで開催された。箕野町長にとって初めての予算編成となる平成26年度一般会計予算など49議案が提案され、すべての議案を原案どおり可決し、平成26年度がスタートした。
一般質問では17人の議員が町長の施政方針などを中心に行政課題をただした。



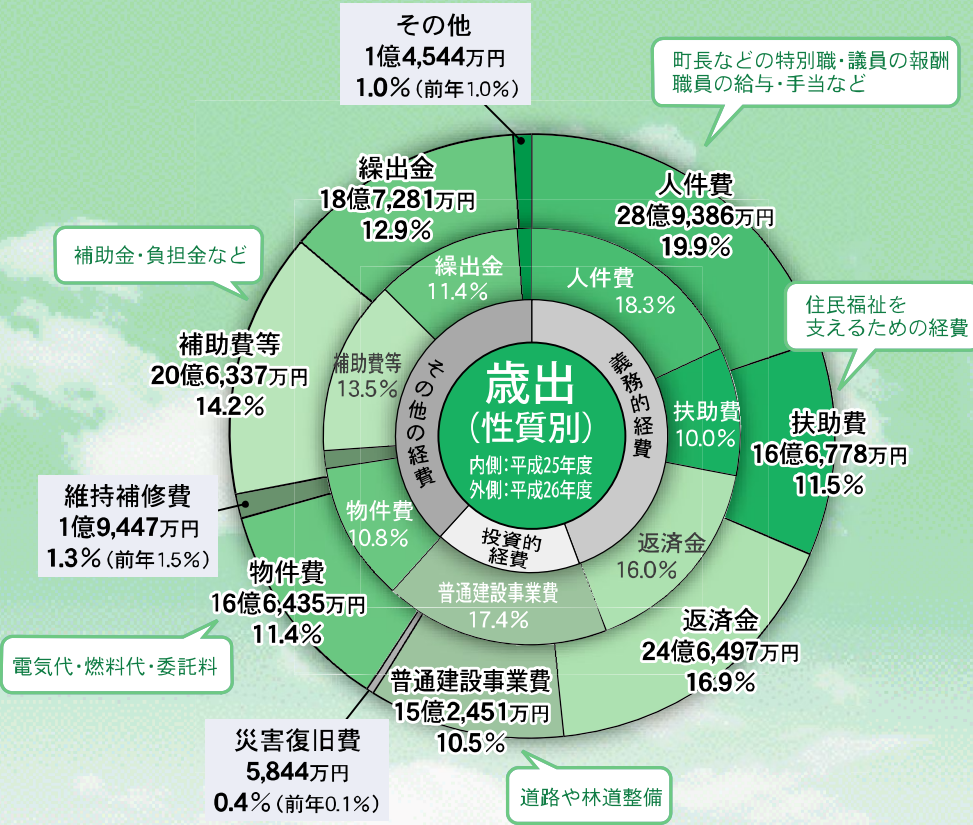
歳出(目的別)

一般会計予算の歳出を目的別に分類し、25年度本格予算と比較すると次のグラフのとおりである。増要因の主なもの、消防救急デジタル無線整備事業、豊平地域プール整備事業、消防救助工作車更新、道路新設改良事業などである。



歳出(性質別)

一般会計予算の歳出を性質別に分類し、25年度本格予算と比較すると次のグラフのとおりである。義務的経費は、人件費及び返済金が減少し、中学生までの医療費補助拡大により扶助費が増加している。投資的経費は、壬生小及び豊平小新築工事の完了などにより28%減少している。



議案に対する主な質疑・討論

平成26年度一般会計予算

問 税の徴収強化対策は
答 コンビニ二納付を準備している

問 公民館使用料の見直しは
答 考えは
半日単位を時間単位に見直す

問 コピー料金の見直しは
答 極力実態に近い料金にする

問 水質検査箇所は
答 定点で年2回、18カ所予定

問 資源ごみリサイクル線ぐるみ運動は
答 奨励金は廃止し、集団回収補助をキロ5円から7円に増やす

問 若者定住対策のプランをつくり積極的に
答 新規住宅建築が必要なら増やす

問 消防団員報酬が国交付金より低い
答 今後増やす方向

問 合併10周年記念事業の3日間の神楽マラソン公演(700万円)の効果は
答 神楽協議会には理解してもらっている。経済効果を得るための行事とは考えていない。

問 温水プール工事の増額はあるか

答 地盤改良による増額が考えられる

問 鳥獣被害対策は
答 箱ワナを1基(40万円)購入し貸し出す

反対討論 美濃 孝二

中卒までの医療費助成拡充、支所提案型の事業、集落支援員を配置した集落調査などは歓迎しかし、3600万円の「温水プール」指定管理料、解放同盟補助金52万円、将来にわたって借金を棒引きにする可能性もある住宅新築資金貸付金の滞納処理は賛成できない。

賛成討論 中村 勝義

3つの改革実現に向け6つの重要施策を着実に、かつ強力に展開できるよう重点配分されている。支所を拠点としたまちづくりでは1支所200万円の支所長権限予算や支所提案型事業実施計画と予算など、ハード、ソフト両面でも住民本位の政策姿勢が随所で見受けられる。

反対討論 中田 節雄

予算編成に当たり、民間手法・地域特性・地域資源の3点を改革テーマに掲げているが、一般質問・予算審査特別委員会での町長の積極的な発言もなく、十分な予算の説明責任が果たされていない。強力なリーダーシップを求めて反対する。

平成26年度国民健康保険特別会計予算

反対討論 美濃 孝二

高い国保税が暮らしを苦しめ、消費税増税70歳〜74歳の医療費窓口負担の2倍、年金の連続引き下げが追い打ちをかける。暮らしを守るため「赤字補てん」しても払える国保税にする」との考えがない。

平成26年度介護保険特別会計予算

問 要支援者の訪問介護・通所介護の市町村移管の影響は
答 サービス低下は作りたくない

芸北ホリスティックセンター設置及び管理に関する条例改正

反対討論 美濃 孝二

診断書などは政策的判断で値上げをやめるべき。ましてこの消費税は国に納めないものである。

権利の放棄

反対討論 美濃 孝二

住宅新築資金貸付金返済の権利を毎年放棄しているが、議会に資料も提出せず、町民が納得できる説明を行わない。

新年度の主な事業

消防救急デジタル無線整備(新規) 4億60万円

[財源内訳] 借入金 4億60万円



▲消防署指令室

豊平地域プール建設工事(新規) 2億4,131万円

[財源内訳] 借入金 2億4,000万円 一般財源 131万円



▲豊平地域プール完成予想図

消防救助工作車の更新(新規) 8,085万円

[財源内訳] 借入金 8,010万円 一般財源 75万円



▲消防救助工作車

中学校施設整備(新規) 6,335万円

・豊平中屋内運動場改築工事設計 ・芸北中校舎新築工事設計ほか
[財源内訳] 借入金 4,790万円 一般財源 1,545万円

芸北オークガーデン薪ボイラー整備 5,460万円 (芸北支所提案・新規)

[財源内訳] 国庫支出金 700万円 県支出金 2,500万円
借入金 2,140万円 一般財源 120万円

合併10周年記念事業(継続) 1,600万円

[財源内訳] 基金(地域振興基金) 1,600万円

平成25年度 3月補正予算

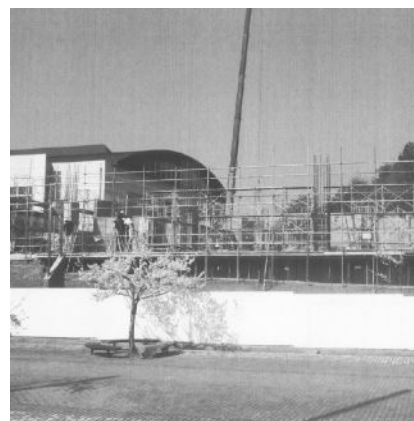
国の補正予算(好循環実現のための経済対策) 3億8,356万円を活用した事業を展開するとともに、事業精査や精算による減額により、1,800万円の補正予算が成立し、平成25年度一般会計予算総額は、167億5,000万円になりました。

▼一般会計3月補正予算の概要(増額分のみ)

●北広島町民温水プール整備(繰越分)	2億5,000万円
●私立保育所運営委託料(増額)	2,145万円
●橋梁点検	2,000万円
●除雪費(増額)	1,820万円
●財政調整基金積立金	8,500万円

▼情報基盤整備事業特別会計補正予算

●防災ステーション等整備	1億円
--------------	-----



▲町民温水プールの工事現場

提出議案の審査結果

平成26年3月定例議会

○賛成 ●反対

議案名	議員名	浜田	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	真倉	藤井	蔵升	田村	美濃	大林	宮本	審査結果	
定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
芸北ホリスティックセンターの設置及び管理に関する条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
八幡診療所設置及び管理に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
企業立地奨励条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
都市公園条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
体育施設設置及び管理条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
千代田運動公園設置及び管理条例の改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
権利の放棄について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成25年度 一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度 一般会計予算		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度 国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度 後期高齢者医療特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は採決に加わりません

【全員一致で可決した議案】

- ・消防長及び消防署長の資格を求める条例
- ・課設置条例の改正(産業課を農林課に)
- ・職員の給与に関する条例の改正
- ・職員の特殊勤務手当に関する条例の改正
- ・非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例改正
- ・芸北オークガーデン設置及び管理に関する条例の改正
- ・福祉事務所設置条例の改正
- ・新規就農者研修施設の設置及び管理に関する条例の改正
- ・道路占用料と法定外公共物等管理条例の改正
- ・消防手数料条例の改正
- ・放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の改正
- ・町文化財保護条例の改正
- ・特別職の職員等の給与の特例に関する条例等を廃止する条例
- ・指定管理者の指定について
- ・広島県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について
- ・平成25年度 国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成25年度 下水道事業特別会計補正予算
- ・平成25年度 農業集落排水事業特別会計補正予算

- ・平成25年度 介護保険特別会計補正予算
- ・平成25年度 簡易水道事業特別会計補正予算
- ・平成25年度 電気事業特別会計補正予算
- ・平成25年度 芸北財産区特別会計補正予算
- ・平成25年度 診療所特別会計補正予算
- ・平成25年度 情報基盤整備事業特別会計補正予算
- ・平成25年度 後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・平成25年度 水道事業会計補正予算
- ・平成25年度 豊平病院事業会計補正予算
- ・平成26年度 下水道事業特別会計予算
- ・平成26年度 農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成26年度 介護保険特別会計予算
- ・平成26年度 簡易水道事業特別会計予算
- ・平成26年度 電気事業特別会計予算
- ・平成26年度 芸北財産区特別会計予算
- ・平成26年度 診療所特別会計予算
- ・平成26年度 情報基盤整備事業特別会計予算
- ・平成26年度 水道事業会計予算
- ・平成25年度 豊平病院事業会計予算

発議	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出	北広島町の地酒で乾杯を推進する条例
	要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出	北広島町議会委員会条例の改正

請願・陳情等の審議・採択

件名	請願・陳情者名	審査結果
要望2号 要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書	公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事 高見国生 広島支部代表 村上敬子	採 択

町長の 『平成26年度施政方針』

① 町民の立場に立ち、町民と共に進めるまちづくり

合併記念対策、高度情報化推進対策、明るい行政サービス向上対策、定住促進対策

② 地域の特性を生かした地域づくり

地域づくり振興対策、スポーツ振興対策、安全、安心なまちづくり対策、社会資本整備対策

③ 産業・経済の活性化

農林業振興対策、商工業振興対策、企業誘致促進対策、地域経済連携強化対策

④ 高齢者などに優しいまちづくり

集落活性化対策、地域支え合い活動対策、生活交通対策、健康増進対策

⑤ 若者・子育て世代に魅力的なまちづくり

若者・子育て世代魅力づくり対策、学校教育対策

⑥ 郷土芸能・文化財・自然などを生かした観光の戦略化

観光振興対策、伝統文化保存対策

一般質問の順番と質問項目			質問時間30分、質問回数は制限なし。		
ページ	質問議員	質問項目			
			10	美濃 孝二	壬生の花田植の「餅り牛」及び文化財の保存と活用を 米軍機の傍若無人な低空飛行に強い抗議を
6	藤井 勝丸	「ECOエネルギータウン北広島町」の取組みは 危険な空き家の現状と対策は	11	藤堂 修 壮	集落に元気を
7	中村 勝 義	農政大転換、その中味と課題を問う 公約の実現とその予算反映は	11	蔵 升 芳 信	支所を拠点とした地域づくりを問う 地域通貨(ユート)プレミアムを8%に
7	梅尾 泰 文	古保利薬師の重文整備及びPRIは ジビエ(野生の鳥獣肉)加工で町おこしは きたひろネットの加入状況は	12	伊 藤 久 幸	消費税増税と平成26年度予算 将来へのまちづくりビジョンは
8	森 脇 誠 悟	より有利な辺地対策事業債の活用ができないか スポーツ振興のために基金の設置はできないか	12	柿 原 徳 則	体験学習について問う
8	室 坂 光 治	国道433号大竹三次間 国道改良指定区間工事予定について 限界集落の農業振興について	13	中 田 節 雄	「道の駅舞ロードIC千代田」の経営について 町政運営について問う
9	宮 本 裕 之	行政主導による行政区の再編を 補助金と借地料の見直しでさらなる財政健全化を	13	浜 田 芳 晴	ソバ名人(高橋邦弘氏)に学ぶ
9	真 倉 和 之	平成26年度の施政方針を問う 北広島町の義務教育の現状と 基礎学力の習得の保障を問う	14	田 村 忠 紘	変革する農政にどう対応 町の顕彰規定の制定を
10	大 林 正 行	観光振興による地域の活性化策を問う 本地冠川の汚染対策を問う	14	久 茂 谷 美 保 之	施政方針に問う 新たな農業・農村政策への対応は



藤井 勝丸

問 3・11東日本大震災・原発事故により、その後全国54基の原発が発電を停止している。原発や化石燃料による大量消費型社会から、徹底した省エネ節電、自然エネルギーを最大限生かす対策が必要。新エネルギービジョン「ECOエネルギータウン北広島」の成果は、

答 企画課長

①公共施設へのペレットストーブの導入②舞ロード千代田管理棟への太陽光発電の導入③公共施設及び防犯灯のLED化のほか、民間レベルでは工業団地へのメガソーラー施設

など一定の成果があった。

問 「ECOエネルギー北広島」の対応は

答 省エネ、自然エネルギー対策を研究し推進する

問 エネルギー政策計画の見直しは、

答 企画課長

国の「エネルギー基本計画」の方向性や急速に進歩する技術革新等の状況を見ながら見直す。今年度から休止していた「新エネ協議会」を再編し積極的に推進する。

問 「自然エネルギー小水力発電、生ごみ尿等を利用した発電の計画推進は、

答 企画課長

今国会中「空き家対策特別措置法」成立に向けての動きがある。本町の空き家率は平成20年の調査で19%と高い。現在実態調査中。国が示す「基本方針」に沿って条例を制定する。(施行はH27年の予定)

答 企画課長

問 「空き家対策」は、

答 企画課長

今国会中「空き家対策特別措置法」成立に向けての動きがある。本町の空き家率は平成20年の調査で19%と高い。現在実態調査中。国が示す「基本方針」に沿って条例を制定する。(施行はH27年の予定)



中村 勝義

問 公約実現施策とその予算反映は

答 公約関連事業に
5億4777万円措置

問 25年度は、竹下町政の継承年度であったが、この間行政運営の中で選挙公約と重なる事業もあり事実取組まれたものもあった。26年度は、箕野町政が最初から始まる年度である。公約実現に向け自らの手で編成された当初予算である。公約は最終的には4年間の任期の中で実現していくものだと存じているが、26年度公約実現に向けての施策と予算額は。

答 町長

公約である3つの改革の内、26年度にお

いては特に地域の特性を生かす支所を拠点としたまちづくりを重点的に取り組んでいく。支所地域活動支援事業や支所提案型事業により支所予算権限を増やし支所機能の充実を図る。また、集落支援員を本庁・各支所へ1名ずつの配置地域支え合いモデル地区の増設など公約関連施策に総額で、5億4777万円の予算措置となる。

農政大転換期、その中味と課題を問う

問 26年度から農業政策が大きく

26年度から農業政策が大きく

答 産業課長

現在、農業推進委員さんへの説明やパンフレットの配布を通じて農家の皆様へ周知を図っているところである。



梅尾 泰文

問 古保利薬師の重文整備及びPRは

答 総合的な整備が必要

問 北広島町の千代田地域に古保利薬師がある。そこには奈良時代頃の仏像群があり、そのうちの12体は国の「重要文化財」に指定されている。以前は地元の方が管理運営をされていたが、現在は町の所有となっている。

地方にこれだけの貴重な文化財がまとまってあるところはない。これを「国宝」にすることはできないか。

答 生涯学習課長

貴重なものであるが、国宝となるだけの価値を証明しなくてはならずハードルは高い。

問 高くてもクリアーすることはできる。貴重だということをもっと文化庁や、一般の方にもPRしなくてはいけない。看板、旗を立てることも必要である。

問 数年前地元と協議が必要との答弁であったがその結果はどうなっているか。

答 生涯学習課長

文化庁の審議官に仏像を見てもらい助言等もいただき、今後当然行っていく。

問 表参道(階段)、裏参道(車道)の整備と境内敷地を含む流末処理の整備は進んでいるか。

答 建設課長

表参道としての敷



▶ 古保利薬師(薬師如来座像)



森脇 誠悟

問 有利な辺地対策事業債の活用を

答 国の予算枠が小さく、増額は難しい

問 辺地対策事業債は、過疎対策事業債等と比べ条件が有利だと思うが、現在辺地に認定されている地域はどこか。

答 平成26年度は川戸の町道尾長線の改良工事を計画している。

答 企画課長

辺地債は、充当率100%、交付税の算入率が80%で、過疎債の70%に比べ有利な起債である。現在町内25地域が認定されている。

問 辺地債残高は約1億6千万円、全町債の1%、平成26年度予算では、辺地債2500万円である。有利なこの事業債をもっと活用するべき

ではないか。

答 建設課長

規程を制定するべきではないか。

答 生涯学習課長

新たに北広島町スポーツ大会参加助成金交付要綱を策定した。

問 スポーツ振興基金の設置はできないか

国の辺地債予算は、規模が小さく競争率も高いので、増額は難しいと思われるが、より有利な起債を活用していきたい。

答 町長・教育長

スポーツ大会参加助成金交付要綱を策定した。

問 新庄高校野球部の甲子園出場は、町民に大きな元気を与えてくれましたが、全国大会等への助成

地域振興の面からもスポーツは大きな役割を持っている。検討していきたい。



室坂 光治

問 国道433号線工事予定について問う

答 早期完成を県に要望する

問 国道433号戸谷共盛から牛尾原間改良指定区間の未改良工事の予定について何う。地域の方は早期完成を待ち望んでいる。状況をしっかりと確認して、県に再度要望する考えは。

問 限界集落の農業振興について

私達の住む中山間地域は、数年前から過疎高齢化の不安を抱えたまま耕作放棄地を出さないよう地域住民が協力し、不安のまま農業を継続している現状である。農業対策計画の中で補助制度及び大型化整備計画について問う。

答 建設課長

工事については安芸太田町側から随時工事を進めている。現在塩明口付近の工事を実施している。今後の具体的計画については、詳細な年度等の確認はできていないので町としては引き続き工事の推進について県へ要望していく。

答 産業課長

補助制度については、新たな制度に組みかえられスタートするのでそういった制度を活用して頂きたい。



▶ 国道433号塩明入口付近

どうする？
私たちの
町づくり



宮本 裕之

問 行政主導で行政区の再編を

答 行政区再編の指針は示していく

問 行政区の再編は、
厳しい財政状況
をより健全化するた
めにも必要であり、県
内23市町で区長報酬
を支給している自治
体は、わずか2市4町
だけである。区長報酬
を削減しても住民
サービスの向上と負
担軽減に努力するべ
きであり、豊平地域を
始め八幡地区のよう
に行政区の総合再編
を行政主導で進める
考えはないか。

答 豊平地域の行政再
編は、前田元町長の強
いリーダーシップの
基で行われた大事業
であり、敬意を表する。
今後、望ましい行政区
再編の指針は示して
いきたい。

答 町長

答 財政課長

答 総務課長

地区それぞれの歴
史文化、財産等があり、
行政が再編を強制す
ることは難しいと考

**補助金と借地料の
見直しで、さらなる
財政健全化を**

問 平成22年の第
2次行政改革大
綱によって補助金や
借地料の見直しは行
なわれたのか。

第1次行政改革で
47件、1900万円の
補助金消滅を行って
きたが根本的な見直
しには至っていない。現
在町独自の補助金は、
年間6億4500万
円計上しており、補助
金全体の約43%を占
めている。交付税の減
少も考慮し、新たな見
直しが必要と考える。
借地料の約8割が千
代田地域であり、換地
や売却を含めて取り
組んでいく。



真倉 和之

問 平成26年度施政方針を問う

答 公約を着実に進めていく

問 平成26年度予
算編成において、
算挙公約が、どの程度
予算に反映され、どの
点に重点を置いた予
算付けをしたのか伺う。

薪ボイラー整備事業
に5460万円、豊平
どんぐり荘改修工事
設計に726万円ほ
か計7585万円で
選挙公約予算として
5億4777万円で
一般会計当初予算と
して145億500
0万円に対して3.8
%になる。

答 財政課長

答 町長

開かれた行政と「民
間経営手法の導入」地
域の特性を生かす。「支
所を拠点としたまち
づくり」「地域資源を
生かした住みやすい
まちづくり」の3点の
改革の実現に向けて
の予算反映で、支所を
拠点とした町づくり
では支所地域活動支
援事業に600万円、
支所提案型事業の芸
北オーケガーデンに

問 施政方針で豊
平地域プール建設
消防救急デジタル無
線の整備、芸北中学校
校舎新築工事、豊平中
学校屋内運動場改築
工事等に要する総予
算額、実質公債費比率
が何ポイント分押し
上げるか伺う。

4事業の当初予算
は6億6366万円、
借入額は6億620
0万円で実質公債費
比率は平成25年度決
算見込みから17%の
見込で、当初予算では、
芸北中学校新築工事
及び豊平中学校屋内
運動場改築工事は設
計委託料の予算上で
全体事業費は設計完
了後。



大林 正行

問 本地地区の堆肥工場による冠川汚染対策は

答 広島県と連携して対応する

問 指導で問題が解決しないのであれば、法律違反として警察に告発できないか。

答 町民課長

規制対象になつていないので警察に告発できない。

問 町条例の罰則規定は適用できないか。

答 町民課長

水質検査の結果が基準値以下なので、罰則は難しい。しかし、公害防止協定を結んでいるので、これに基づき改善を促す。

問 浄化槽を設置させることはできないか。

答 町民課長

県と可能かどうか協議したい。

問 悪臭についてどうに対応しているのか。

答 町民課長

臭気測定を3月4日に実施し検査に出している。結果が出たら地元知らせる。

問 汚泥はどこから持ち込んでいるのか。

答 町民課長

広島市の下水汚泥である。

問 観光振興による地域の活性化策は

答 観光戦略の基本的な考え方は、

問 町民課長

答 町民課長

町のイメージや観光資源、ターゲットなどを明らかにするため、マーケティングを実施し、観光戦略会議で新たな観光戦略の策定を行う。

問 総合観光案内板を設置する考えは。

答 町民課長

舞ロードIC千代田に平成26年度上半期に設置する。

問 「当地グルメのぎたひる焼き麵」に、町のテコ入れが必要ではないか。

答 町民課長

商工会等と連携してPRしていく。

問 町民課長

答 町民課長

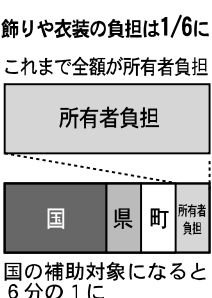


美濃 孝二

問 「飾り牛」は国の補助対象ではないのか

答 壬生の花田植保存会の構成員になれば補助対象

問 「飾り牛」の飾り等は農家の大きな負担、後継者不足も深刻なため「飾り牛保存会」は昨年町長に支援を要請した。しかし「国指定ではないため補助はない」と回答したが、国・県の補助対象ではないのか。町の補助は。



問 田楽団の太鼓や衣装も補助対象ではないか。

答 生涯学習課長

対象になる。

低空飛行を中止させるため機敏に抗議を

問 昨年10月22日夜八幡で連続して32回も異常な轟音が国が測定した。この低空飛行に対し町は国に抗議したか。

答 危機管理監

抗議していない。

問 重要文化財収蔵の古保利薬師の参道排水施設、講堂改修など全体的な整備計画をつくるため奉賛会と協議してはどうか。

答 生涯学習課長

協議していくことが必要。

問 防衛大臣は「自治体から抗議要請がないと米軍に抗議しない」と答弁している。マニュアルを作り機敏に抗議すべきではないか。

答 町長

他市町を参考にルールを見直す。

17議員が町政を問う



藤堂 修壮

問 集落に元気を

答 危機感を共有し
集落対策に取り組む

問 集落支援員の選考
方法と役割は。

答 企画課長

各支所と本庁に集落
支援員1名を配慮し担
当職員と実態調査をして
集落カドレを作成する。
支援員の選考は行政経
験者を考えている。

活用を考えたい。

問 集落の在続に
危機感を感じて
いるのか。

答 福祉課長

町の将来を考えると
危機感がある。魅力あ
る地域づくりは頑張る
姿の発信も必要。

落実態調査を踏まえ、
共同でできることを

考え、話し合いの場を
作りたい。

問 集落維持は益々
厳しい状態に入る。

対策の手を緩めれば
取り返しがつかない
事態となる。町長の考
えは。

問 地域おこし協力
隊の活用は。

答 企画課長

集落支援員は集落の
目配りや調査をするが、
地域おこし協力隊は都
市から若い人が入って
くる制度である。集落
調査のあと、地域おこ
し協力隊や外部人材の

問 町の活性化や集
落の元気は、老人
会や女性会など各種団
体の活力が必要だが、近
年元気が見られない。ど
のように取り組むのか。

答 副町長

団体に元気がない
ことは感じている。集

答 町長

町民と危機感を共有
しながら地域の素晴ら
しさや良さを生かし、
自信と誇りをもって明
るい未来を創る必要が
ある。暗いイメージを
払拭し、町民あげて集
落対策に取り組む。



蔵升 芳信

問 支所を拠点とした
地域づくりを問う

答 支所と地域協議会による
まちづくりを推進する

問 高速道路を柱
とする交通体系、
自然や郷土芸能など
の豊かな田園文化、き
たひろネットの高速
通信網など、現在ある
地域資源や諸機能を
活用した新たな魅力
の創出がまちづくり
の基本になるべきと
思う。町長が創りあげ
て行きたいと思ってい
る本町の将来像、地
域別の役割や整備方
針の考えを聞く。

針と大きく変わるこ
とは無いと思っている。
地域にあるものを中
心に地域の活性化を
図りたいが、広域的な
視野との不一致が出
てきた場合は、十分議
論し修正すべきところ
は修正を図る。

答 町長

利用者にとってプ
レミアムが高いほど
魅力はあるというこ
とになるが、この先ま
た消費税率が10%と
いう状況もある。消費
税とリンクして引き
上げを行うものでは
ないと判断した。

問 地域通貨(ユート)
プレミアムを8%に

答 本町の地域通
貨は、商業活性化策と
して町内消費拡大を
目的に始まった事業
である。新年度から消
費税率が8%に引き
上げられるのに伴い、
町内商店等での消費

答 町長

明るく元気なまち
づくりを町民の皆さ
んと共につくって行
きたい。基本的には新
町建設計画の整備方



▲地域通貨ユート



伊藤 久幸

問 将来へのまちづくりビジョンは

答 ハード事業からソフト事業へ

問 長期総合計画、新町建設計画の更新協議検討を行う重要な年。北広島町の将来あるべき未来図を伺う。

消費増税と平成26年度予算

消費増税と平成26年度予算。消費増税が4月実施、公共料金使用料等で引き上げ対象となる主なものは。

答 町長

ハード事業中心の大型プロジェクトからソフト事業へ。経済至上主義から、里山資本主義に代表される農村の再認識。本町の素晴らしさを共通認識し集落が主役となり行政とともにまちづくりを進め町全体を元気にする。

具体的にささげたい事業、集落支援員の設置、支所提案型事業を、実行地域にあるものを生かすまちづくりをめざす。

答 財政課長

原材料等の価格を反映した上で予算編成する。

問 低所得者に対する町独自の救済策はあるか。

答 財政課長

独自策で予算編成はない。

答 福祉課長

国の救済策として臨時福祉給付金、子育て世代臨時特令給付金がある。

答 町民課長

国保税、高齢者医療について軽減措置の拡充あり。



柿原 徳則

問 体験学習について問う

答 学校と酪農家と考え方が合致すれば取組む

問 体験学習は、教育委員会からの指導で行うのか。各学校で先生方が独自に企画して実施するのか。

答 学校教育課長

教育委員会が指導しているものでなく、各学校が独自に活動している。

問 北広島町には、酪農家・牛乳加工メーカー・消費者と一貫した工程があり、この恵まれた環境で、子供たちに体験をさせるべきと思うが考えを伺う。

答 教育長

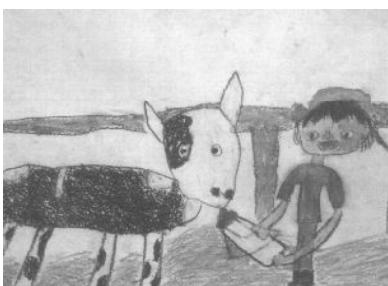
体験学習はそれぞれ地域実態の中で、酪農体験も必要なことだと思う。取組んでいる教育内容の中で、校長が判断して、適切であれば、見直している。私の経験で学校に勤

答 学校教育課長

各校とも地域性をもって独自の活動を行っている。いろいろ地域の農業体験であるとか、昨年度やって

いる。実績を見ると酪農の体験を今年度やっていない。

務したときに、キャリア教育の職場体験学習で一週間子供たちに農場で体験をさせて頂いたことがある。今後も学校のニーズと受け入れて頂く農場と、考え方が合致すれば取り組んでいきたいと思っているし、学校と話を進めていきたい。



▶牛舎を見学した児童の絵

どうする？
私たちの
町づくり



中田 節雄

問 道の駅「舞ロードIC千代田」の経営を問う

答 新聞、ラジオ等でPRをし、産品も各地域を回って出荷依頼をしている

問 冬場に葉物野菜が極端に不足していたが、今後の対応は。

答 産業課長

21棟のハウスを新規に設置しており、栽培指導に力を入れ、加工品開発にも取り組みたい。

答 商工観光課長

幟はウッドデッキのところに設置するよう準備している。入り口への設置は検討していきたい。

町政運営について問う

問 町長は、町民や各種団体の意見や要望を聞いて、どのように整理しているのか。

答 町長

意見や要望を聞く中で、八割が要望、一割が苦情、後の一割が提案であり真摯に聞かせて頂くことを基本に考えている。政策立案や長期ビジョンをつくり上げていく手法として、町民の声を聞く事にあると考えている。平成二十七年からの長期総合計画(十年計画)策定に向けて、準備を進めていく。

答 町長

まだ完成形ではなく、協議しながら向上させていきたい。

答 商工観光課長

テイクアウトコーナーも指定管理にしており、協議検討していきたい。

問 情報発信基地の場でもあるが、この施設が何であるのか、通行車両からは判らない。入り口に幟も看板もない。

問 賑わいを演出するため、ウッドデッキの所をオーブンカフェとして整備し、軽食・ジュエードアイス・コーヒーをテイクアウトコーナーで販売し、くつろげる空間をつくつてはどうか。

情報発信基地の場でもあるが、この施設が何であるのか、通行車両からは判らない。入り口に幟も看板もない。



浜田 芳晴

問 ソバ名人(高橋邦弘氏)に学ぶ

答 支援員をおいて問題点の調査をする

問 名人は27年に拠点を大分にうつされる約25年間、こだわりのソバで「感動」させ集客することを教わった。商工観光課はどんな感動で集客を考えるのか。

答 商工観光課長

神楽や田楽体験型民宿などを戦略に考えていく。

からさそいもある。豊平は寒い所で交通、買物、病院の便が悪いと言われる。交通対策や将来に向けての基金積み立ては。

答 企画課長

現在は生活、通院バス、デマンドバスで対応。

答 豊平病院部長

現在の体制では医師の負担が多すぎる

答 町長

医師不足の中、内科医確保に努力をする

答 財政課長

将来は不便になるので、この目的では積み立てはないが他の基金利用を考えることも必要。

問 支所に26年度から支援員を置いて

集落調査をすれば、名人が言う問題点、若者のいない集落などは出分、草刈りなど出来ない問題点解決のため、対策をする部署が本庁にいるのでは。

答 商工観光課長

次年度より考えていく。

問 豊平病院は高齢社会になるほど40

床ベットは必要。病院側と町側で内科医を迎えるための条件整備が必要なのは。

答 町長

企画課内調整係に一名千代田支援員以外に置く。



田村 忠紘

問 変革する農政にどう対応する

答 法人化へ向けて努力する

問 政府は、農業政策の大転換を発表した。向こう10年間で国土全農地の8割を担い手に集積する。個別所得補償の廃止。コメ主体から幅広い作物に転換等、今後10年間で農業農村の所得倍増を目指す大改革を実現するというものである。これを踏まえ本町の農業施策をどのように進めるか。

等への転換を促し、小規模農家には、産直への参加を推進する。法人化の遅れた地域への話し合いの機会を増やすように努力する。

される。本町の産業、文化の向上に著しい貢献をいただいた。是非、顕彰したいが、本町には規定が無い。名誉町民、表彰等の顕彰制度を設けるべきと思うが。

そば打ち
高橋名人に顕彰を

答 総務課長

問 そば打ち名人の高橋邦弘さんが、来春、大分県に移住

他の市町の例を参考に、制定を検討する。

答 産業課長

直接支払い制度が全廃になれば、本町全体で2億7000万円の減収になる。非主食米や麦、大豆



▲そば打ち名人 高橋邦弘氏



久茂谷美保之

問 施政方針(こだわり)を問う

答 明るく元気なまちづくり

問 広島県の施策「中山間地域振興条例」と本町の連携・取り組みはどのように進めるのか。

小学校の木造新築、温水プールの熱源(ペレット)など北広島町のこだわりとして、エネルギー活用「エネ活」の町にしてはどうか。

答 企画課長

答 町長

具体的には、知事と市町による振興協議会を設置し意見交換を充分重ねて北広島町の要望を決定していく。

ヨーロッパの生活やエネルギービジョンを学ぶ事も必要と思う。本町のこだわりとして、元気づくりモデル事業や、子ども農村交流事業など、元気な町づくりと、交流の町を進めていく。

集辺の山林整備は必要と考える地域の住民の意見などを聞き、進めていく。

問 本年度事業の一つとして、芸北オークガーデンに薪ボイラーの整備がされる中で、「薪活」と称して、地域とせどやま事業が連携して、新しい取り組みがされる。

問 温泉や集客施設集辺に桜や町花・町木を植え、名所づくりの考えは



▶薪ストーブ
(芸北オークガーデン)

議員提案の条例

北広島町の地酒で乾杯を推進する条例

この条例は、北広島町で製造されている清酒、どぶろく、ワイン等による地酒の乾杯を推進する条例を制定し、このような習慣を広めることにより、地産地消・関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図り、地酒の普及を通じた日本文化への理解の促進を図ることを目的とする。

意見書

要支援者への予防給付を市町村事業とすることに ついての意見書

- 一、要支援者に対する介護給付はこれまでどおり保険給付とすること。
- 二、利用者負担に所得による差を設けないこと。
- 三、国の責任において、安心な介護制度を充実すること。

〔提出先〕衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、厚生労働大臣

免税軽油制度の 継続を求める意見書

免税軽油制度が平成27年3月31日失効となつているが、失効すれば本町のスキー産業者、農業者の経営はますます厳しいものとなる。よつて、この免税軽油制度の継続とあわせて手続き事務の簡素化を求める。

〔提出先〕内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、財務大臣

がんばっています!!

大朝地域

大朝保育所

(51人)

こんにちは。大朝保育所です。

保育所には、広い園庭があり、春には園庭に咲くチューリップ、パンジーの花や、満開の桜を眺めながらゆつたり、のんびりと戸外あそびを楽しみます。夏には、夕涼みを兼ねて親子でゲームを楽しみ、園庭に組んだやぐらのまわりで盆踊り、そして夜空に広がる打ち上げ花火を皆で見るのは最高の気分です。秋には、子ども達の大好きな運動会で力いっぱい走り

り、楽しい競技も最後まであきらめず頑張ります。そして、大人にとつては寒さが厳しい冬も子ども達にとつては大喜びの冬。真っ白になつた園庭を走り回り、寝つきがわり、雪あそびを楽しみます。砂山からソリ滑りが始まると子ども達の歓声は一層大きく響きわたります。

今、新入児を迎え新学期がスタートしました。これから始まる一年間、四季折々の自然をたくさん感じながら、明るく元氣いっぱい伸び伸びと成長してくれることを願い保育していきたいと思つています。

また、保育所では子育て支援センターを併設しています。これまでたくさん親子の皆さんが遊びに来られています。どなたでも気軽に遊びに来てください。園庭で園児たちと触れ合いながら遊んでいる姿はとても微笑ましいです。

これからも地域の皆さまと一緒に子育てができるよう頑張つていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



▲園庭で遊ぶ園児

がんばっています!!

千代田地域

蔵迫保育所 (73人)

蔵迫保育所は、開園六十年、還暦をむかえました。昨年度千人の卒園児を送り出し、これもひとえに保護者の皆様や地域の方々のおかげさまと感謝しております。

特に地域の方々には、毎年栗拾い、おいも掘り、おもちゃつぎの他、日頃いつも温かく子ども達を見守って下さり、私達職員も安心して保育をさせていただいております。

その感謝の思いをこめて、毎年秋には、地域の方々を積木あそびに招待し、保育所にあそびに来ていただいています。

蔵迫保育所では、積木あそびに力を入れており、子ども達は毎日創造力豊かなあそびを経験しています。

▶ 地域の方と積木あそび



なで作りました。積木あそびの後は、一緒に給食を食べていただき、子ども達と積木あそびのことやいろいろな話題でいつも盛り上がります。地域の方も子ども達も笑顔がいっぱいで、本当にあたたかい雰囲気のお会食となります。その様子を見ていると、地域の方とのふれ合いの中で、子ども達の心も豊かに育てていただいていることを実感いたします。

表紙の写真



夢が現実になり、悲願の甲子園出場おめでとう。そして、感動をありがとう！

第86回選抜高校野球大会開幕

新庄高校野球部が春夏通じて初出場という快挙を成し遂げ、更に出場32校を代表して中林航輝主将が心に響く選手宣誓を行い、応援のボルテージはいっそう熱くなった。一回戦対東海大三高は、6-0で下し、二回戦対桐生第一は延長十五回1-1の再試合、翌日0-4の惜敗を喫した。多少悔しさは残るが、新庄高校の校訓である「至誠一貫」「質実剛健」「協力一致」のもと威風堂々と戦って全国に広島新庄高校の名を轟かせた球児たちは立派でした。若き球児たちに幸あれと心からエールを送りたい。

あとがき

温暖化の影響でしょっか。桜の開花も、年々早くなってきているような気がします。また、今年は気温が一定したのでしょうか、桜の花も例年以上の美しさを誇っていました。各地で「桜まつり」などのイベントが盛大に開催され、桜の下は花見客でも賑わいました。北広島町では、千代田から豊平、大朝、芸北と3週間以上にわたって桜を満喫することができます。とても広い面積を擁しているからです。各地域の気候・気温が違えば、それぞれが少しずつ違う文化・特徴をもっていると思います。

今年度の新事業として、本庁・各支所に集落支援員を配置し、集落の現況・課題・住民意識等の調査を実施し、地域課題にあった施策をすすめることになりました。この事業が、各地域の特性を生かして、より元気な北広島町にできる施策になるよう、大きな期待をすることも、もっと議論を深めていきたいものです。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】

議長 加計 雅章

【議会広報特別委員会】

委員長 宮本 裕之

副委員長 美濃 孝二

委員 藤堂 修二

委員 森脇 誠悟

委員 柿原 徳則

委員 伊藤 久幸

委員 大林 正行